

今後の辞書に載るかもしれない今年の新語を三省堂が発表！ 「一пей」「にわか」「サブスク」などが堂々のランクイン！

辞書のプロが2019年を代表する10の新語+αを徹底解説！



辞書のトップメーカーである株式会社三省堂(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北口克彦)は、2019年12月3日(火)に「三省堂 辞書を編む人が選ぶ『今年の新語2019』」選考発表会を実施し、2019年を代表・象徴する新語ベスト10を発表いたしました。

新語の選定にあたっては一般公募を行い、応募総数は延べ2,017通(異なり837語)となりました。これらの投稿などをもとに、辞書を編む専門家である選考委員が一語一語厳正に審査し、「今年の新語2019」ベスト10を選定しました。

ベスト10に選出されたことには国語辞典のプロの手による解説(語釈)をつけて発表しました。

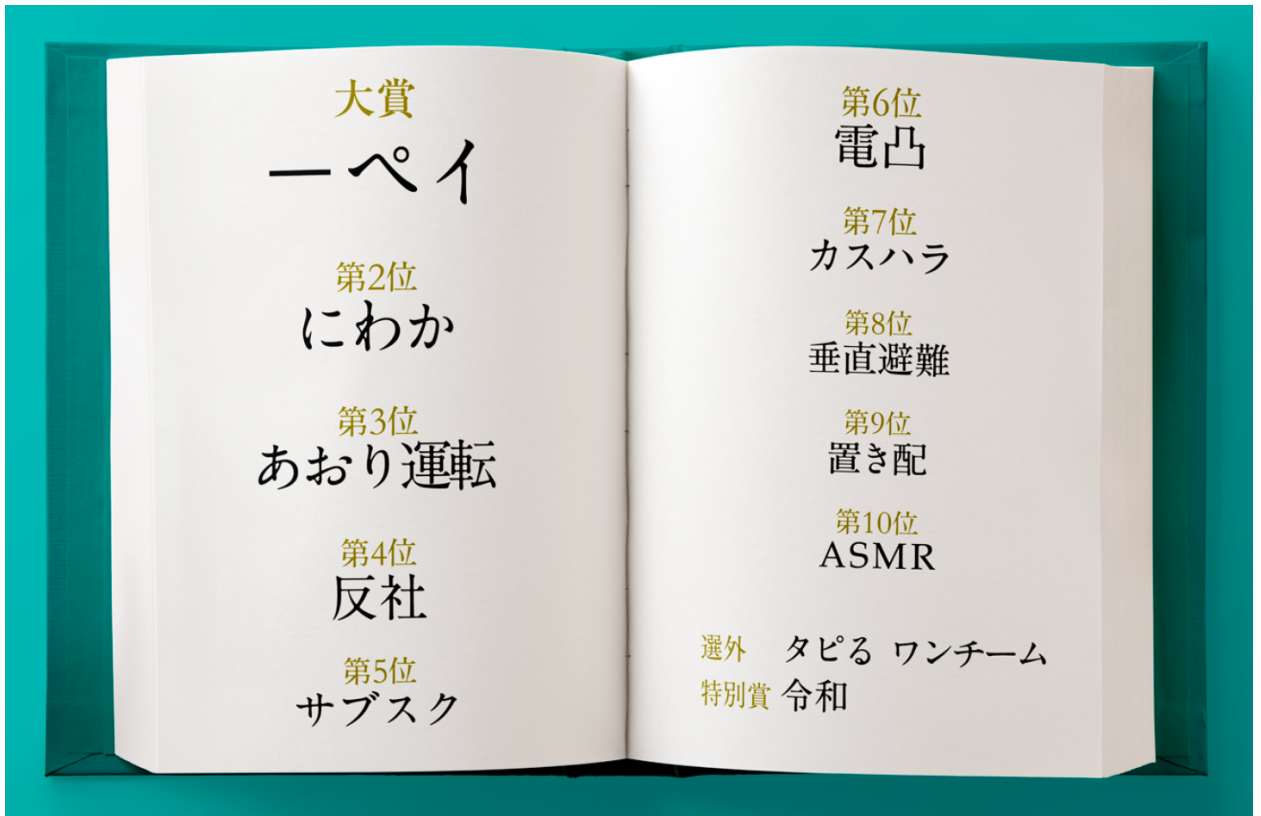
それでは次のページからランキング選考結果をご紹介します。今後の辞書に掲載されてもおかしくない「今年の新語2019」の切り口と面白さを、ぜひお楽しみください。

三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2019」

**特設サイトにて、選考結果と日本語ネタが満載の
選評を掲載しています。あわせてご覧ください。**

<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/shingo2019/best10/>





各社がなぜか使う「造語成分」の「ーペイ」が大賞

スマホ決済サービスは、日本では5年ほどで急速に一般化しました。「PayPay」「LINE Pay」「楽天ペイ」「Google Pay」などが乱立する中、今年は消費税率引き上げにともなうキャッシュレス・ポイント還元事業により、一躍全国区での関心事となりましたが、各社がなぜか、申し合わせたように「ーペイ」をネーミングに使っています。こうしたことばの要素は「造語成分(語を構成する要素)」と呼ばれます。消費者の決済行動に大きな変化を及ぼすという意味で2019年を代表するにふさわしいことばです。

2019年を物語る堂々のベスト10

2位の「にわか」は、もともと、「にわかに雨が降ってきた」のような副詞用法や、「にわか勉強」のような造語成分の用法がありましたが、最近は「にわか」だけで「にわかファン」の意味を表すようになりました。従来のけなして使う用法から、初心者を迎える意味合いに変化しつつあります。

3位の「あおり運転」、4位の「反社」、6位の「電凸」、そして7位の「カスハラ」と、今年は攻撃的な行為や、社会の負の側面が現れたことばが並ぶ結果となりました。決して愉快的なことばではありませんが、今後も使われ続けると予想され、避けて通ることはできません。

5位の「サブスク」は、居酒屋のサブスクや高級バッグのサブスクなど多方面に浸透して身近なことばに。8位の「垂直避難」は、近年の気候変動で水害が増え、今後も使われていく可能性が高くランクイン。9位の「置き配」は「泣き売(ばい)」や「やめ検」などと同じく語構成の面で特筆すべきことばです。10位の「ASMR」は、脳内幸福感を引き起こす音を総称した、ランキング中唯一のアルファベット語です。

一方、今回最も投稿数の多かった「タピる」は、いつまでブームが続くか判断できず選外に。「ワンチーム」は、今後「一致団結」に代わって定着する可能性はあるものの、まだ流行語的な色合いが強く選外に。2番目に投稿数が多かった新元号「令和」は、この先も長く使われることは確実で、特別賞の枠を設けて授賞することとしました。

三省堂の新語には、国語辞典のプロの手による解説（語釈）をつけて発表

ベスト10に選出されたことばには、実際の編者が腕をふるって国語辞典としての言葉の解説（語釈）を書きました。シャープな語釈でことばの本質をとらえる『新明解』、シンプルな語釈で要するに何がわかる『三国』、高校生の自習を強力に支援する『現新国』、いまの日本語を映し出す[国語]+[百科]辞典の『大辞林』。それぞれの編集方針で異なる語釈の切り口と面白さをお楽しみください。

ペイ（↑payment）〔造語〕スマートフォンにインストールしたアプリを使い、キャッシュレスで支払を行うサービス。経済産業省が進めようとしているキャッシュレス決済に伴い、さまざまな支払方法が広まっている。キャッシュバックキャンペーンやポイント還元、軽減税率などを有利にする方法として用いられている。〔消費税一〇パーセント値上げに際し、現金を使用しないことで、値上げの実感を少しでも減らすための方法として広めた仕組みとも考えられる〕

『新明解国語辞典』編集部

ペイ〔pay〕①〔名〕報酬（ホウシュウ）。賃金。「―は八千円だ」②〔名・自他サ〕①割に「あうこと。もうかること。「―しない仕事」②しはらうこと。③〔造語〕（―ペイ）スマートフォン決済の名前に使うことば。

『三省堂国語辞典』飯間浩明先生

ペイ〔造語〕「↑payment」「ペイメント」の略。現金を用いない、スマートフォンなどによる電子マネー決済。「…ペイ」のように、固有の電子決済名として用いられることが多い

『三省堂現代新国語辞典』小野正弘先生

ペイ①〔ペイメントの略〕他の語に付いて、電子決済のサービス名称を作る語。「ペイ」「デジタル」―特に、近年広まったモバイル決済サービスで多く使われる

『大辞林』編集部



本格派国語辞典の最高峰
大辞林 第四版



現代文・評論文を読み解くための
三省堂現代新国語辞典 第六版



現代の生きた日本語がわかる
三省堂国語辞典 第七版



ことばの本質をとらえる
新明解国語辞典 第七版

■従来の新語・流行語ランキングとの違い

三省堂が募集する「今年の新語」とは、あくまで「今年特に広まったと感じられる新語」ということで、必ずしも「今年生まれた言葉」ではありません。その中から、特定のジャンルやコミュニティに偏らないよう、使用者層や使用域の広がりや使用頻度の高さを考慮しつつ、来年以降も使われてゆくであろう日本語を辞書を編むエキスパートが慎重に選定しました。つまり、辞書に載ってもおかしくない新語をバランス良く認定するのが「今年の新語」です。

三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2019」2位以下の語釈と選評は
<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/shingo2019/best10/>

ことばのネタ満載の選評はWebページに掲載しています。ぜひご覧ください！



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社三省堂 営業本部 販売部 販売宣伝課

Tel: 03-3230-9562 E-mail: www-info@sanseido-publ.co.jp